

TOTO

排水ソケット


HP500 HP500E HP500M

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。



1 安全上のご注意

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。





















- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は「必ず実行」を示します。
--	--

 注意	
 必ず実行	施工後必ず試運転し、各部に水漏れがないことを確認する 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

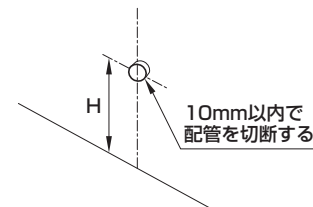
2 同梱部品の確認

施工前に箱の中に下記部品があるかを必ず確認してください。

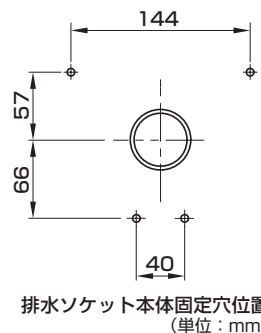
HP500	 排水ソケット本体 1個	 施工説明書 (本紙) 1部	 M8ナット 1個	 タッピンねじ 4本	 ワッシャー 1枚	 アダプター 1個		
HP500E	 排水ソケット本体 1個	 施工説明書 (本紙) 1部	 M8ナット 1個	 タッピンねじ 4本	 ワッシャー 1枚	 Pシール 1個	 丸木ねじ 2本	 鉛管フランジ 1個
HP500M	 排水ソケット本体 1個	 施工説明書 (本紙) 1部	 M8ナット 1個	 タッピンねじ 4本	 ワッシャー 1枚	 Pシール 1個		

3 新設塩ビ管用 (HP500) の場合

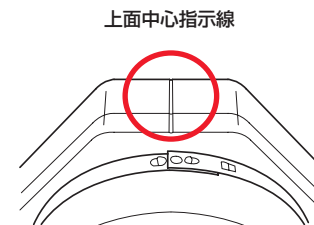
- ①塩ビ排水管を壁仕上げ面から10mm以内で切断する。
 - ②排水ソケットの取付穴位置に従って(下図参照)配管の中心線をあわせて固定穴位置をけがく。
- ※けがいた位置にφ3程度の下穴をあけておくとタッピンねじの締め付けが比較的容易になります。



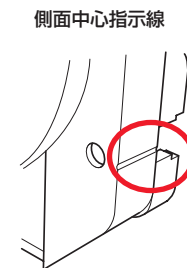
- 排水管立上げ高さ(H)
- ・UFH500 (Z) : 床仕上げ面から205mm
- ・UFH557 (Z) : 床仕上げ面から410mm
- ・UFH560 (Z) : 床仕上げ面から410mm
- ・UFH570 (Z) : 床仕上げ面から410mm



排水ソケット本体固定穴位置
(単位: mm)





上面中心指示線



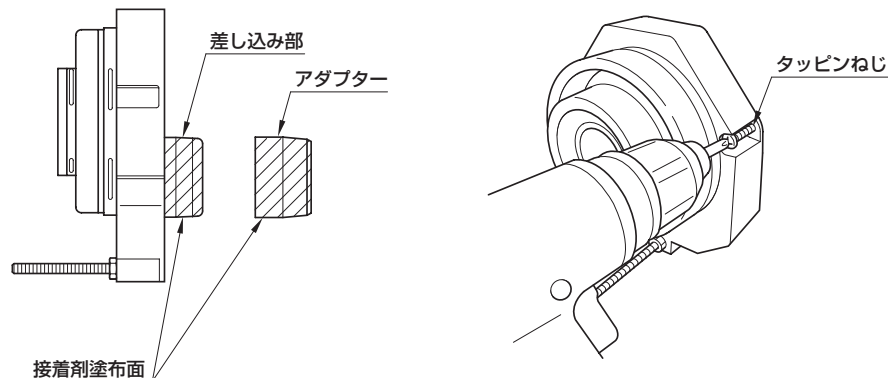
側面中心指示線

- ③排水ソケットの差し込み部外周 (V U管用アダプター使用の場合にはアダプター内外両面) に塩ビ用接着剤を塗り塩ビ排水管にいっぱいまで押し込む。
※必ず排水ソケットの中心指示線を壁の中心線にあわせてください。
※一度接着しますと手直しができませんのでご注意ください。

 必ず実行	排水ソケット本体と塩ビ排水管のはめあいがゆるい場合は、一般タイプの接着剤では水漏れする危険性があるため必ず高粘度タイプの接着剤を使用する 一般タイプの接着剤では水漏れて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
---	---

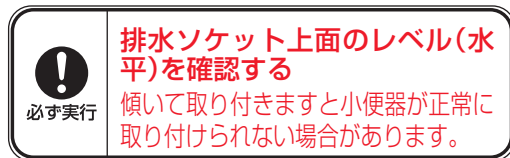
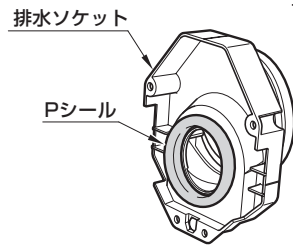
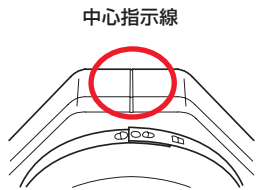
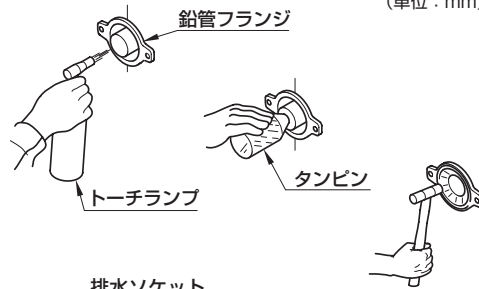
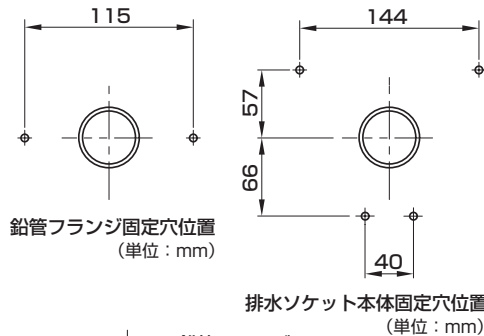
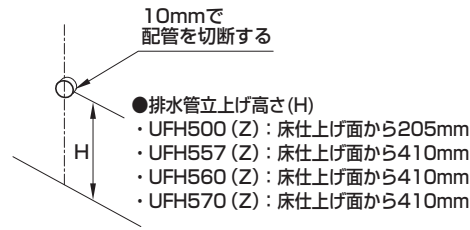
 必ず実行	排水ソケット上面のレベル (水平) を確認する 傾いて取り付きますと小便器が正常に取り付けられない場合があります。
---	--

- ④排水ソケット本体をタッピンねじで4カ所固定する。

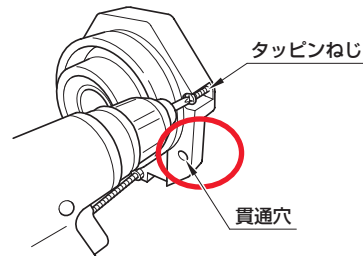


4 新設鉛管用 (HP500E) の場合

- 鉛管を壁仕上げ面から10mmで切断する。
- 鉛管フランジおよび排水ソケットの取付穴位置に従って (右図参照) 配管の中心線をあわせて固定穴位置をけがく。
※けがいた位置にφ3程度の下穴をあけておくとなッピンねじの締め付けが比較的容易になります。
- 壁フランジを中心線にあわせて壁に固定する。必ず壁フランジの中心を壁の中心線にあわせる。
- 鉛管をトーチランプで加熱し、タンピンなどを使用して鉛管の先端を広げる。
- フランジ面に沿わせ、つばの端面まで広げる。
※鉛管の上端をはんだ付けしてください。
- 排水ソケットにPシールを取り付ける。
※排水ソケット排水口周辺のごみおよび水滴などはよくふきとってください。
- 排水ソケット本体の中心指示線と便器中心線をあわせ、排水ソケットを鉛管に押し付けてください。
※鉛管にPシールがしっかりなじむように押し付けてください。

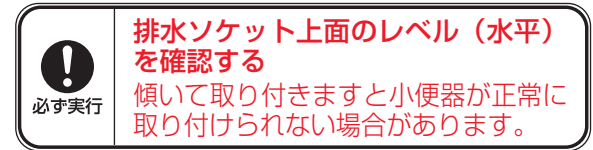
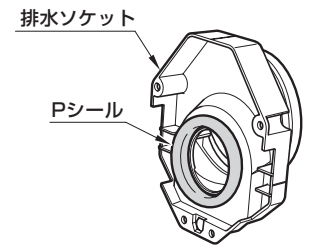
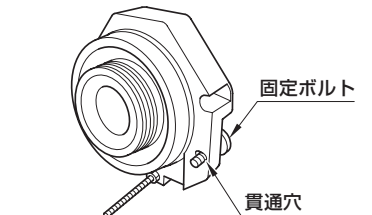
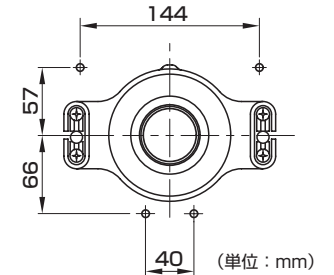


- 排水ソケット本体をタッピンねじで4カ所固定する。(貫通穴は使用しませんのでご注意ください)

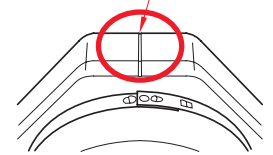


5 既設フランジ用 (HP500M) の場合

- 既設の排水フランジの中心を基準に、排水ソケット本体固定穴位置をけがく。(右図参照)
※けがいた位置にφ3程度の下穴をあけておくとなッピンねじの締め付けが比較的容易になります。
- 排水フランジに付着している古いPシールをきれいに除去する。
- 排水ソケットの中心指示線 (右図参照) と便器の中心線をあわせて排水ソケットを仮固定し、既設フランジに取り付いている固定ボルトとの干渉があるかどうかを確認する。
※排水ソケットと干渉する場合は固定ボルトを切断してください。(固定ボルトが排水ソケット貫通穴を通るものは切断不要です)
- 排水ソケットにPシールを取り付ける。
※排水ソケット排水口周辺のごみおよび水滴などはよくふきとってください。
※壁フランジを完全に乾かしてからご使用ください。
- 排水ソケット本体の中心指示線と便器中心線をあわせ、排水ソケットを壁フランジに押し付ける。
※壁フランジにPシールがしっかりなじむように押し付けてください。



中心指示線をあわせる



- 排水ソケット本体をタッピンねじで4カ所固定する。

